

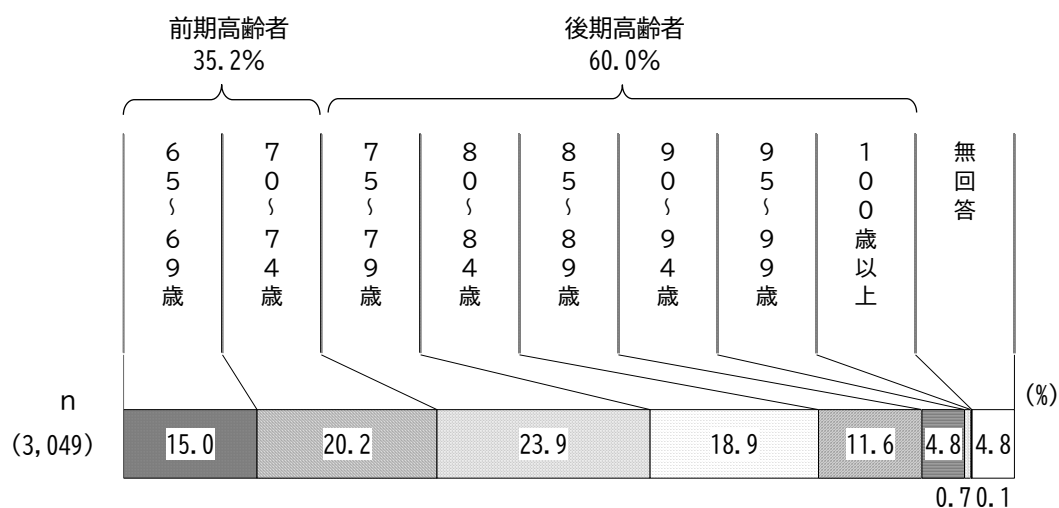
令和8年度 高齢者実態調査結果速報

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

2026年（令和8年） 無作為抽出4,000人を対象とした調査を実施（回収率：76.2%）

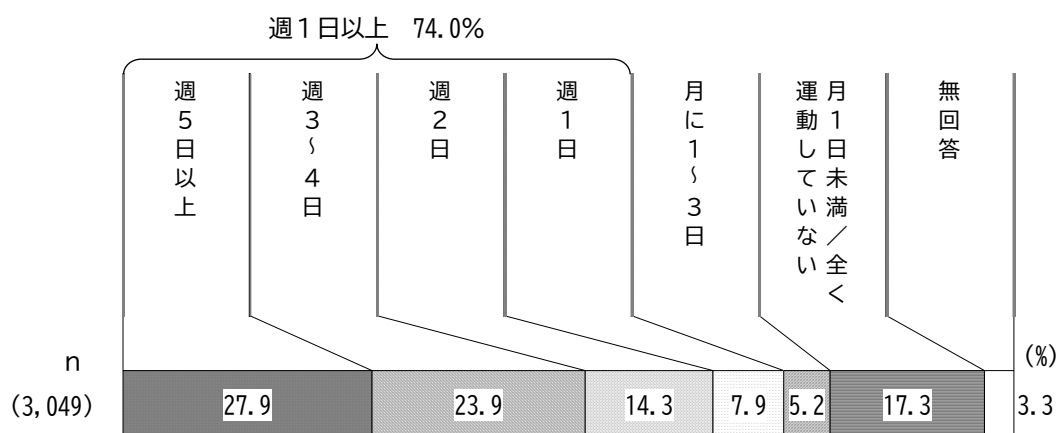
1. 基本属性（2）年齢

回答者の年齢は、「75～79歳」が23.9%と最も高く、次いで「70～74歳」20.2%、「80～84歳」18.9%となっています。《前期高齢者》が35.2% 《後期高齢者》は60.0% となっています。前回調査と比較すると、《前期高齢者》（前回：48.8%）は前回より13.6ポイント低く、《後期高齢者》（前回：47.1%）は12.9ポイント高くなっています。



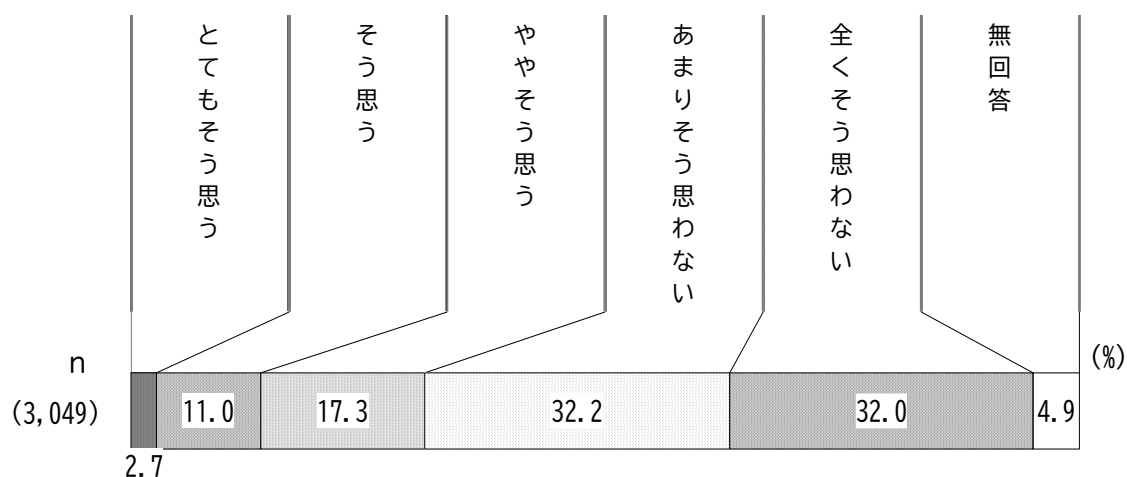
2. 問2（11）運動頻度

「現在、どのくらいの運動頻度で運動をしていますか」という設問に対して、《週1日以上》が74.0%となっています。



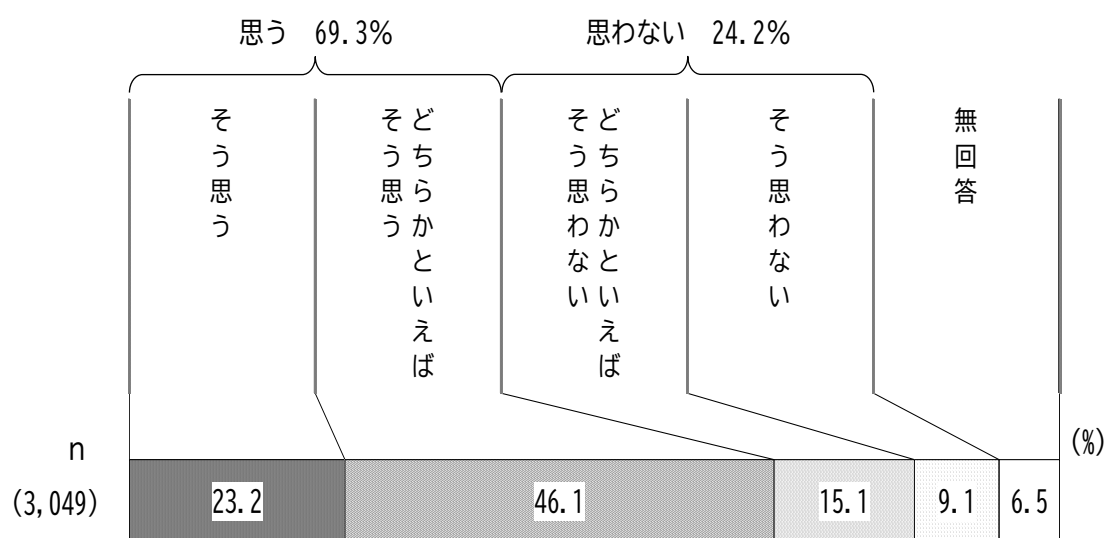
3. 問4（13）地域の人からの役割期待の有無

「お住いの地域の人から何らかの役割を期待され、頼りにされていると思いますか」という設問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、31.0%でした。なお「あまりそう思わない」が32.2%で最も高く、次いで「全くそう思わない」が32.0%となっています。



4. 問6（6）近隣の人への信頼

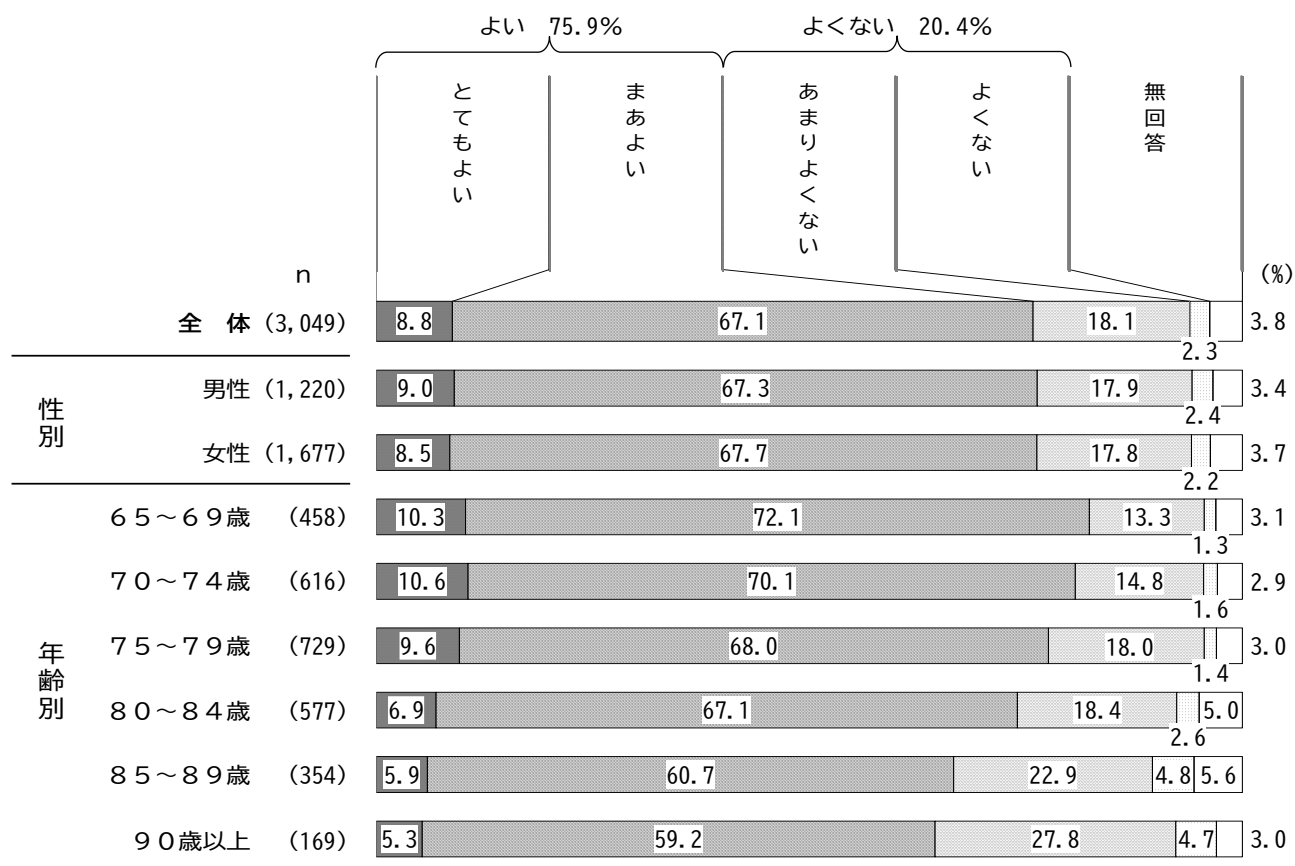
「近隣の人には信頼できると思いますか」という設問に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた方が、69.3%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《思わない》は24.2%となっています。



5. 問7（1）健康状態

「現在の健康状態はいかがですか」という設問に対して、「とてもよい」と「まあよい」と回答した方「よい」が、75.9%となっています。性別でみると、あまり大きな差はみられません。

前回調査と比較すると、「よい」（前回：77.4%）は前回より1.5ポイント低くなっています。



6. 問7（2）幸福度

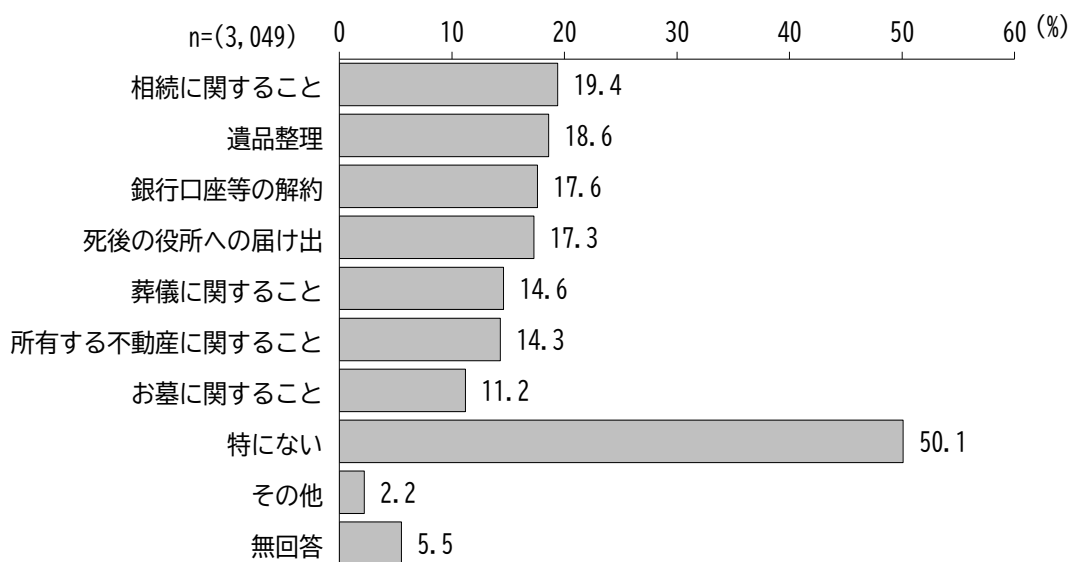
「現在どの程度、幸せと感じますか」という設問に対して、「8点」が24.9%と最も高く、次いで「5点」18.0%、「7点」15.8%、「10点」10.3%となっています。

なお「8点～10点」が44.4%、前回調査（前回：42.9%）と比較すると1.5ポイント高くなっています。また無回答を除いた回答の平均は7.02点でした。

調査数（n）	幸福度 (%)											平均点
	0点 （とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 （とても幸せ）	
3,049	0.3	0.3	1.0	2.1	3.1	18.0	9.9	15.8	24.9	9.2	10.3	7.02

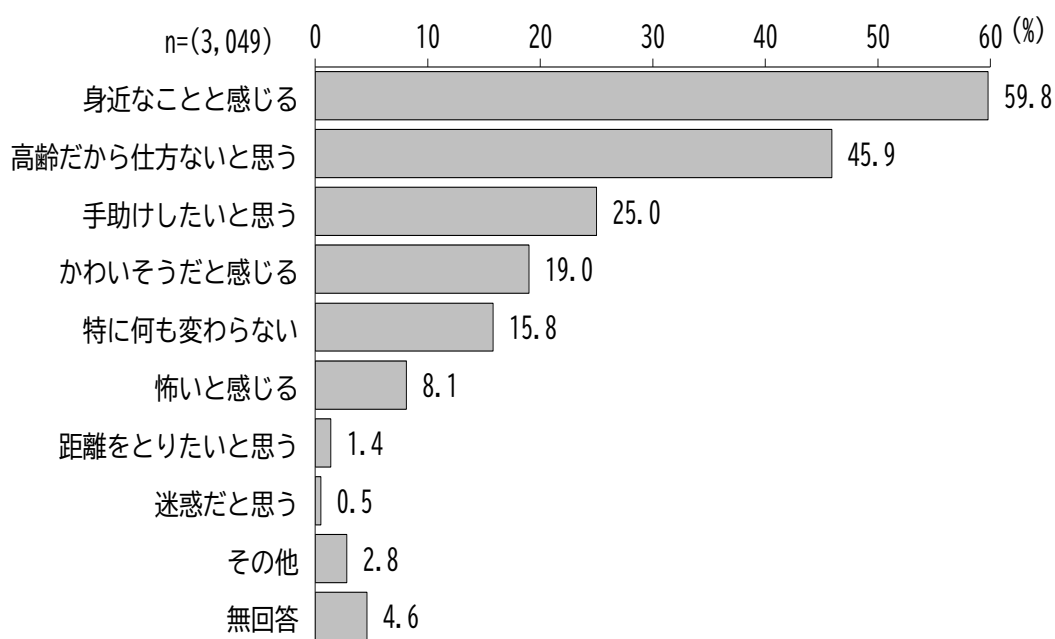
7. 問7（15） 終末期及び死後の手続き等で知りたいこと（複数回答）

「終末期および死後の手続き等で知りたいことはありますか」という設問に対して、「相続に関すること」が19.4%、「遺品整理」が18.6%、「銀行口座等の解約」が17.6%となっています。また、「特にない」が50.1%と最も高くなっています。



8. 問8（3） 認知症のある人への印象（複数回答）

「認知症のある人に対して、どのような印象を持っていますか」という設問に対して、「身近なことと感じる」が59.8%と最も高く、次いで「高齢だから仕方ないと思う」が45.9%、「手助けしたいと思う」が25.0%となっています。



在宅介護実態調査

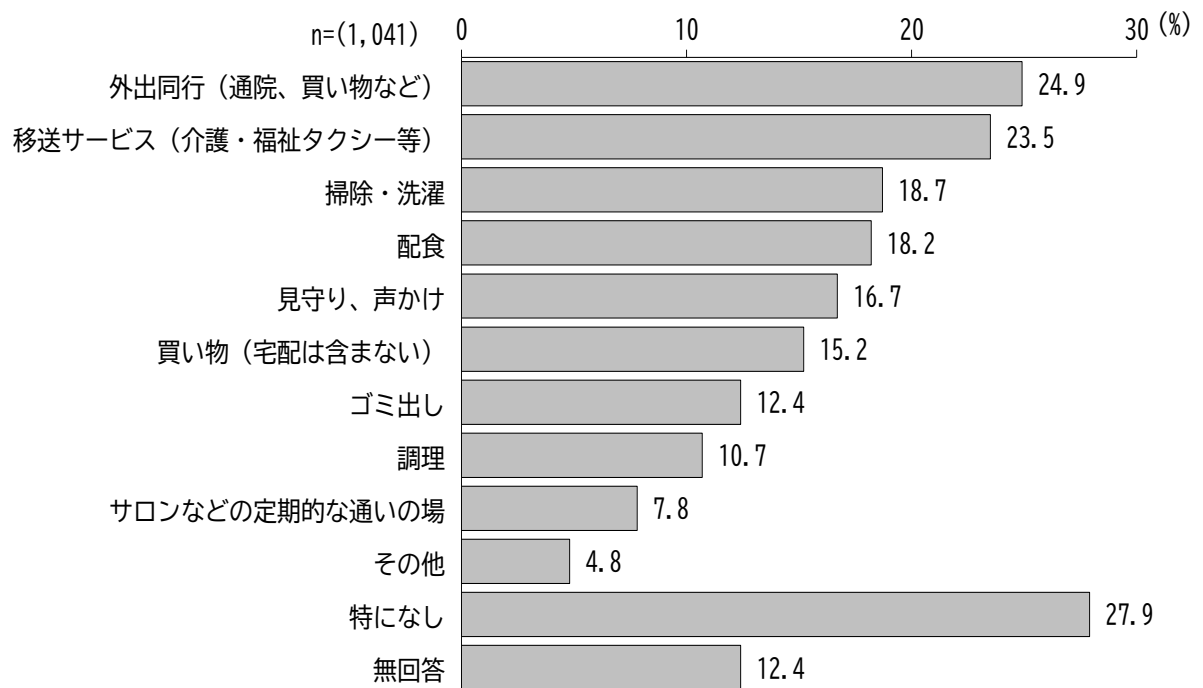
2026年（令和8年） 無作為抽出1,500人を対象とした調査を実施（回収率：69.5%）

（A票：調査対象者本人に対する設問、B票：主な介護者の方に対する設問）

1. A票 問13 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて（複数回答）

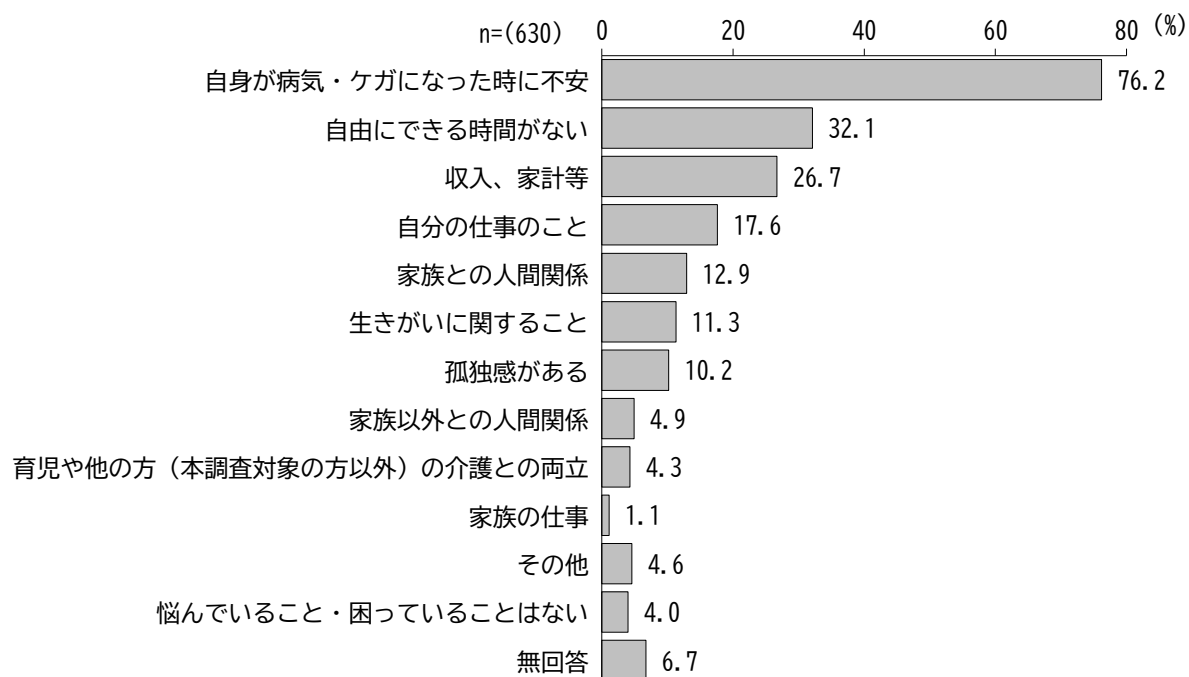
「今後、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて」の設問に対して、「外出同行（通院、買い物など）」が24.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.5%、「掃除・洗濯」が18.7%となっています。一方、「特になし」は27.9%となっています。

前回調査と比較すると、「特になし」（前回：21.9%）は前回より6ポイント高くなっています。



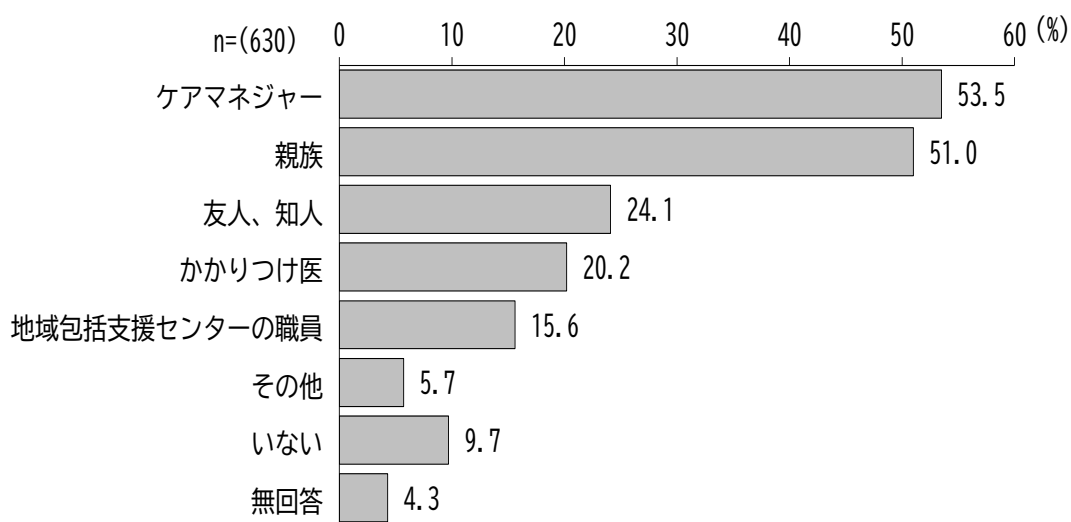
2. B票 問11 主な介護者の介護を行っていく中での悩みや困りごと（複数回答）

「介護を行っていく中で、自身の生活等で悩んでいること・困っていること」を伺ったところ、「自身が病気・ケガになった時に不安」が76.2%と最も高く、次いで「自由にできる時間がない」32.1%、「収入、家計等」26.7%、「自分の仕事のこと」17.6%となっています。



3. B票 問12 主な介護者の介護についての相談先（複数回答）

「介護の疑問・不安・悩みを相談できる人はいですか」という設問に対して、「ケアマネジャー」が53.5%と最も高く、次いで「親族」51.0%、「友人、知人」24.1%、「かかりつけ医」20.2%となっています。

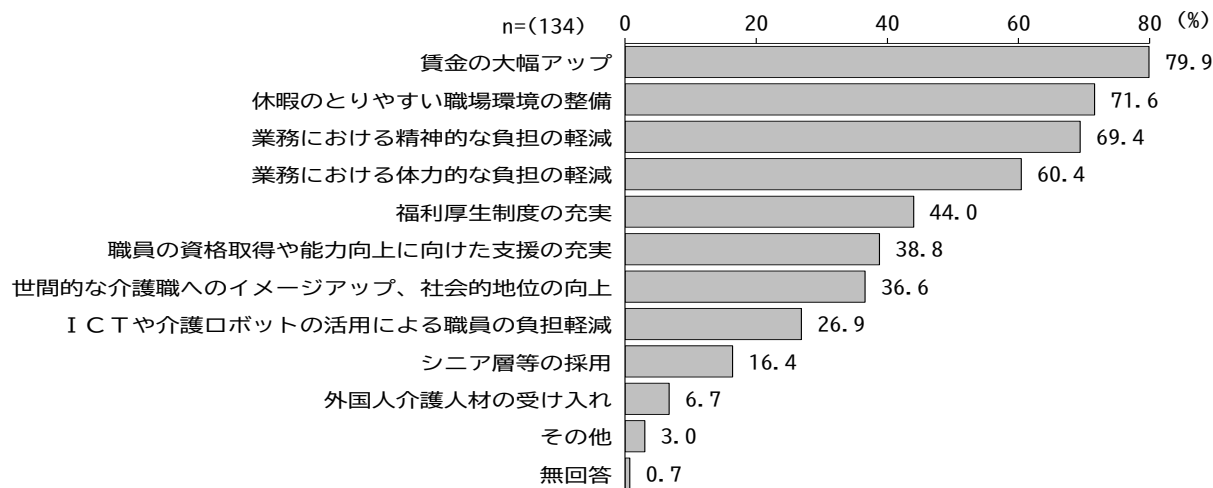


介護保険事業所調査

2026年（令和8年） 市内介護保険事業所を対象とした調査を実施（回収率：74.9%）

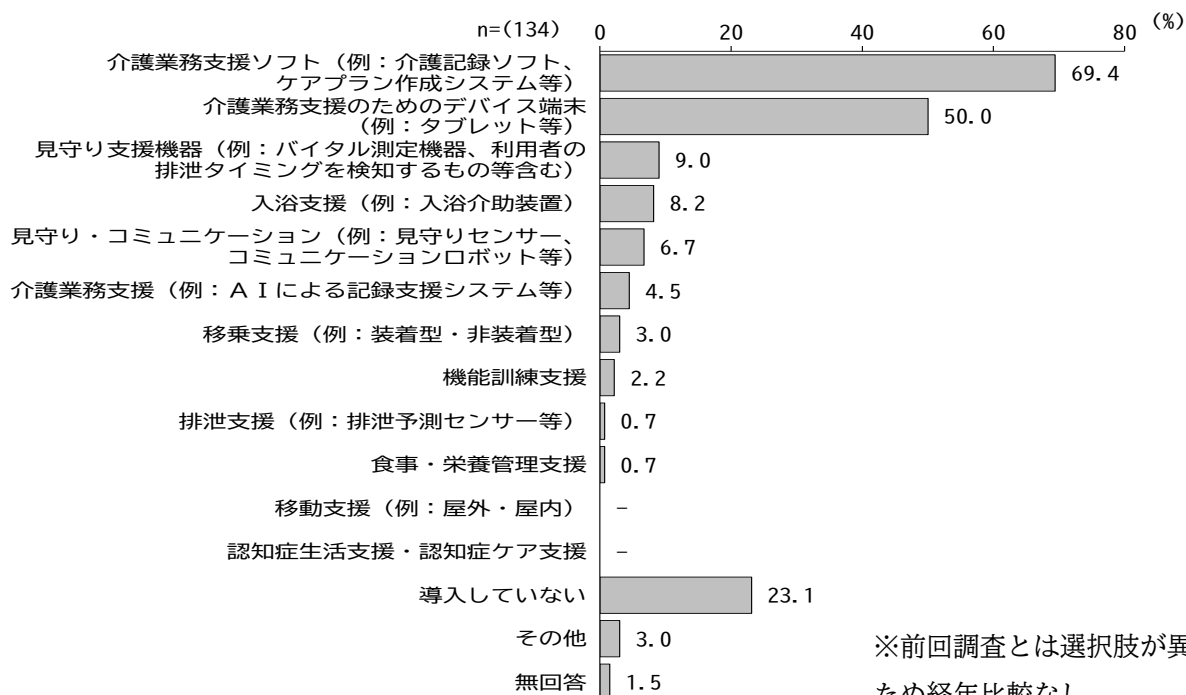
1. 問10 人材確保に効果的と思われること（複数回答）

「人材の確保に効果的と思われることは何か」という設問に対して、「賃金の大幅アップ」が79.9%と最も高く、次いで「休暇のとりやすい職場環境の整備」が71.6%、「業務における精神的な負担の軽減」が69.4%となっています。



2. 問16 ICT機器や介護ロボットの導入状況（複数回答）

「介護サービスの提供又は介護事業所の運営に関し、どのようなICT機器や介護ロボットを導入していますか」という設問に対して、「介護業務支援ソフト（例：介護記録ソフト、ケアプラン作成システム等）」が69.4%と最も高く、次いで「介護業務支援のためのデバイス端末（例：タブレット等）」が50.0%となっている。一方、「導入していない」は23.1%となっています。



※前回調査とは選択肢が異なるため経年比較なし